

兵庫県下の経済動向

平成23年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、震災の影響により、生産面を中心に下押し圧力がかった状態にある。生産は、東日本地区への供給増を企図した生産積み増しの動きもみられるが、全体としてはサプライチェーンの障害等によりやや低下している。

輸出向け需要は、増勢が強まりつつあるものの、震災後の生産活動の低下に伴う影響も一部にみられ始めている。個人消費は、一部生活必需品への需要が高まったものの、マインドの悪化等により総じて弱めの動きとなっている。住宅投資は持ち直し基調にある中で、資材の調達難により一部に工事遅延等がみられている。この間、設備投資は増加計画にある。雇用・所得環境は依然厳しい状況にあるが、改善の動きが続いている。一方で、公共投資は減少している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が東日本大震災による買い控えの反動もあり、9か月ぶりに前年を上回った。乗用車販売は、エコカー補助金終了の影響により、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車とも減少したことから、8か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォンの販売が引き続き好調な中で、薄型テレビやDVDレコーダーなどを中心に、全体として持ち直してきている。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、現時点では、2010年度に続き2011年度も増加する計画となっている。

住宅投資は、持家が増加したものの、分譲、貸家が減少したことから、全体では3か月連続で前年を下回った。

公共工事は、兵庫県などが増加したものの、国、神戸市などが減少したことから、5か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出がアジア、米国、EU向けが増加し、15か月連続で前年を上回った。また、輸入については5か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、輸送機械工業、情報通信機械工業、一般機械工業などの低下により4か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月と同水準となり、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間および一人当たり名目賃金は前年を上回ったものの、常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年を下回って推移している。

企業倒産は、件数および金額とも、前月を上回ったものの、前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向。

2月の兵庫DIは、先行指数100.0%、一致指数88.9%、遅行指数62.5%となった。

2月の兵庫CIは、先行指数101.0、一致指数96.8、遅行指数104.2となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が3か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、遅行指数は2か月ぶりに50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数および一致指数が4か月連続で前月差増となり、遅行指数は4か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は「東日本大震災で生産活動が落ち込んだため、3月の一致指数は悪化する可能性がある」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は95.7、前月比5.5%低下。出荷指数は95.3、同7.3%低下。在庫指数は112.2、同1.5%上昇。在庫率は114.5、同2.1%上昇。生産指数、出荷指数は4か月ぶりに低下、在庫指数は4か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が5.3%増で16か月連続で上昇、出荷も4.7%増で16か月連続で上昇した。また在庫は11.0%増で8か月連続で上昇した。

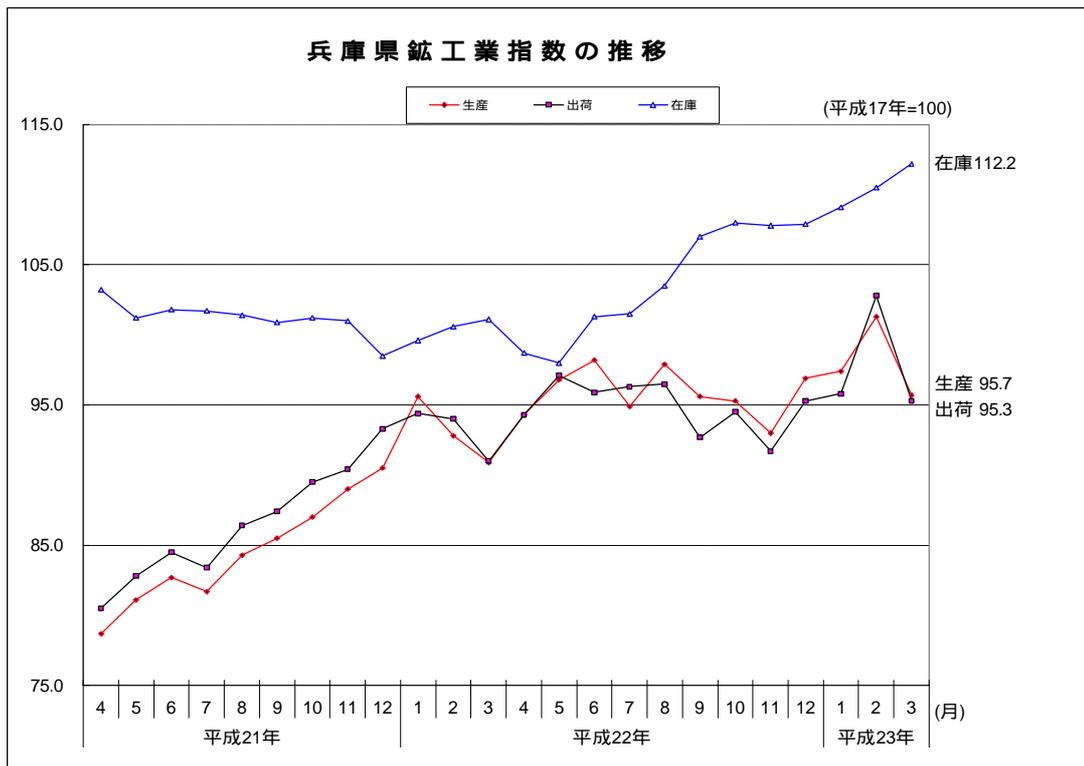
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ビール類、清酒等の「食料品」が7.4%、普通鋼鋼管等の「鉄鋼」が5.3%、PDPモジュール等の「電子部品・デバイス」が4.2%、電力変換装置等の「電気機械」が2.1%、各々上昇したものの、船用蒸気タービン等の「輸送機械」が28.4%、レーダ装置等の「情報通信機械」が26.2%、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が16.8%、鋼管製管継手等の「金属製品」が9.4%、自動車排気ガス浄化用触媒等の「化学」が4.5%、各々低下した。

県統計課は、「総じてみれば兵庫県の生産活動は、先月上昇した反動の動きにより低下したものの、横ばいで推移している」としている。なお、一部東日本大震災の影響が見られるため、今後の動きについて注視する必要がある。

3月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分			原 指 数	
	季節調整済指数	対前月比増減(%)		対前年同月比増減(%)
生 産	95.7	5.5	112.3	5.3
出 荷	95.3	7.3	113.0	4.7
在 庫	112.2	1.5	108.4	11.0
在 庫 率	114.5	2.1	102.9	1.2

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	103.2	5.3	上昇	普通鋼鋼管、粗鋼、鋼半製品、銑鉄
			低下	普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材、ブリキ、中形棒鋼
金属製品	81.3	9.4	上昇	鋼管製管継手、機械刃物、線ばね、超硬チップ
			低下	ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、橋りょう、粉末や金製機械材料
一般機械	95.5	16.8	上昇	一般用蒸気タービン、コンベヤ、はん用内燃機関、プレイバックロボット
			低下	反応用機器、ショベル系掘削機械、超硬エンドミル、プラスチック加工機械
電気機械	121.4	2.1	上昇	電力変換装置、一般用タービン発電機、保護継電器、太陽電池モジュール、
			低下	クッキングヒーター、内燃機関電装品、リチウムイオン蓄電池、開閉制御装置
情報通信 機械	73.4	26.2	上昇	レーダ装置、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、
			低下	カーナビゲーション、固定通信装置、搬送装置、モニター(電子計算機用)
電子部品 デバイス	178.7	4.2	上昇	PDPモジュール、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコントランジスタ(1W未満)、モス型半導体集積回路(ロジック)
			低下	レーザダイオード、電界効果型トランジスタ、IGBT、シリコントランジスタ(1W以上)
輸送機械	63.9	28.4	上昇	船用蒸気タービン、鋼船、ショベルトラック
			低下	旅客車、二輪自動車(125ml超)、懸架制動装置部品、駆動伝道・操縦装置部品
化 学	87.6	4.5	上昇	自動車排気ガス浄化用触媒、塩化ビニル(モノマー)、ポリスチレン、二塩化エチレン
			低下	医薬品、石油化学品製造用触媒、溶剤系合成樹脂塗料、アクリル酸エステル
食 料 品	101.9	7.4	上昇	ビール類、清酒、肉製品、小麦粉
			低下	砂糖、配合飼料、みそ、チーズ

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた4月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.7%増の174億67百万円となり、9か月ぶりに前年を上回った。東日本大震災の影響で3月は5.4%落ち込んだが、買い控えの反動があった。従来は3月に売れるような新社会人向けのスーツなども好調だったという。

神戸地区では、大丸神戸店やそごう神戸店を中心に、婦人服や子供服が好調に推移。下旬には晴天も続いたため、紫外線を防ぐ日傘や帽子もよく売れた。姫路地区でも春物衣料が好調。新入生向け商品の需要も高まり、山陽百貨店では子供服が15%プラスとなった。各店は「買い物をして経済を動かすことが、被災地の復興につながる」との考えが浸透してきたのではないかとみている。

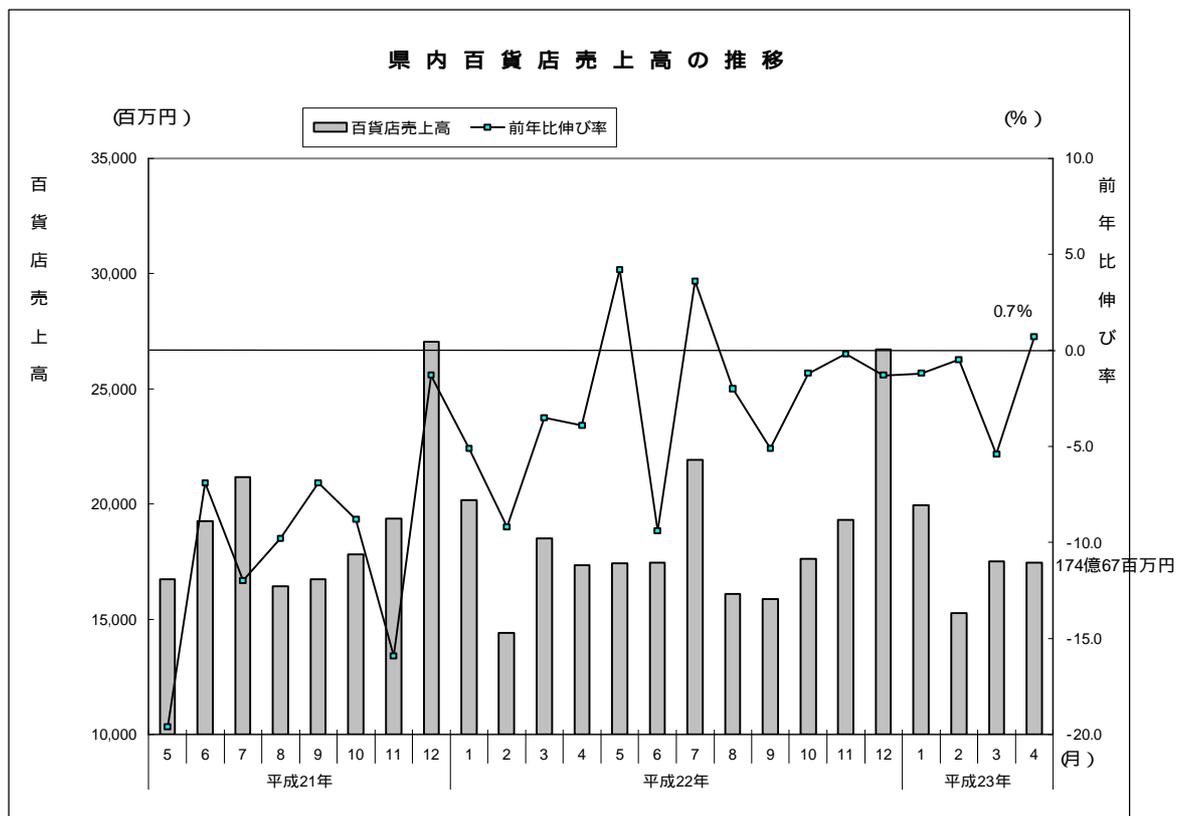
4月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	832(0.6)	190(0.1)	1,022(0.5)
婦人服・洋品	4,510(7.3)	693(1.7)	5,203(6.0)
子供服・洋品	588(2.0)	93(9.0)	682(2.9)
身の回り品	1,613(0.4)	313(10.1)	1,926(1.9)
家庭用品	645(4.6)	160(6.1)	806(2.6)
食料品	3,793(1.5)	740(3.8)	4,534(1.8)
雑貨	1,923(3.6)	393(3.9)	2,316(3.7)
その他	693(1.0)	281(10.4)	974(2.9)
計	14,600(1.1)	2,867(1.5)	17,467(0.7)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は5,776台、前年同月比50.6%減と8か月連続で前年同月の実績を下回った。エコカー補助金終了の影響によるもの。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は1,739台(前年同月比58.1%減)、小型乗用車は2,140台(同46.1%減)、軽乗用車は1,897台(同46.9%減)、乗用車合計で5,776台(同50.6%減)となった。

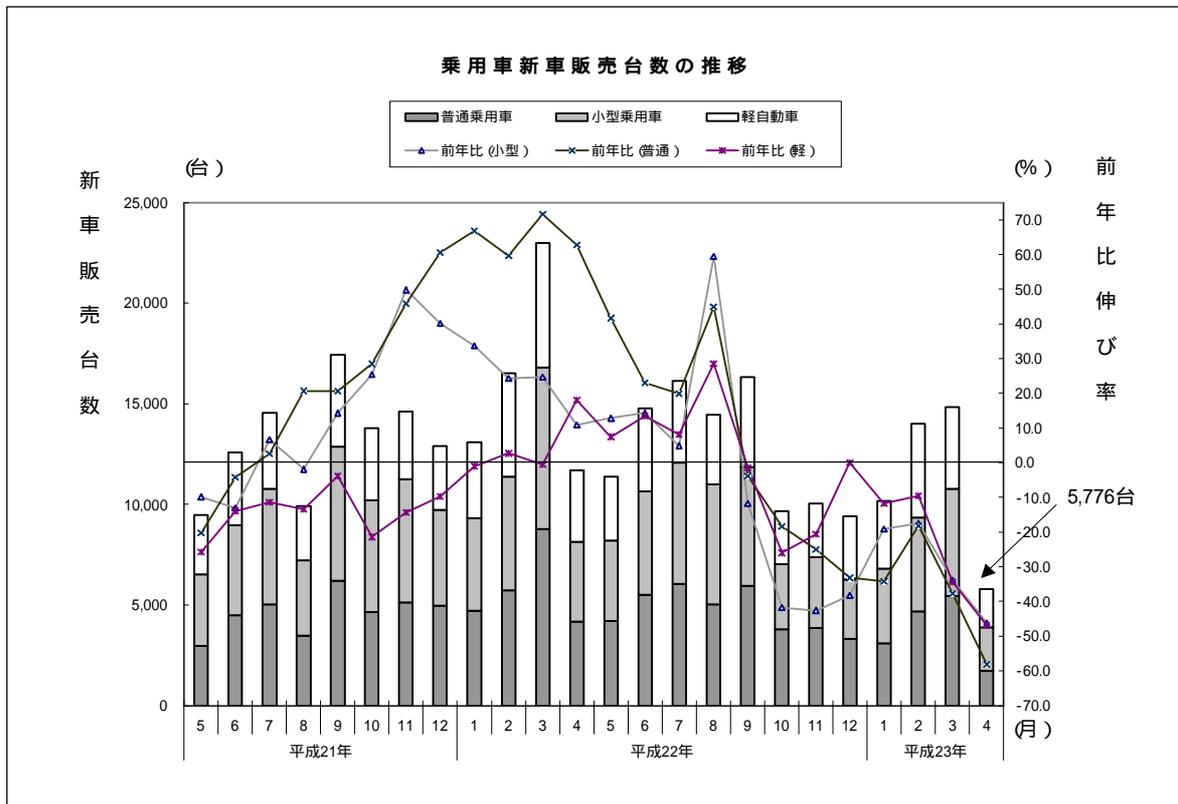
また貨物車等では、普通貨物車は130台(同28.2%減)、小型貨物車は217台(同51.3%減)、軽貨物車は734台(同34.3%減)、バスは11台(同65.6%減)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	1,739	58.1	40,377	58.7
小型乗用車	2,140	46.1	56,751	44.7
軽乗用車	1,897	46.9	56,400	42.4
乗用車合計	5,776	50.6	153,528	48.5
普通貨物車	130	28.2	4,409	33.2
小型貨物車	217	51.3	6,868	51.8
軽貨物車	734	34.3	20,443	36.9
貨物車合計	1,081	38.1	31,720	40.4
バス	11	65.6	419	53.7
登録車総計	6,868	49.0	185,667	47.3

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月16日に発表した機械受注統計によると、平成23年3月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、23年2月前月比2.3%増の後、3月は同15.8%減の2兆849億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比1.9%減の後、3月は同2.9%増の7,776億円となった。

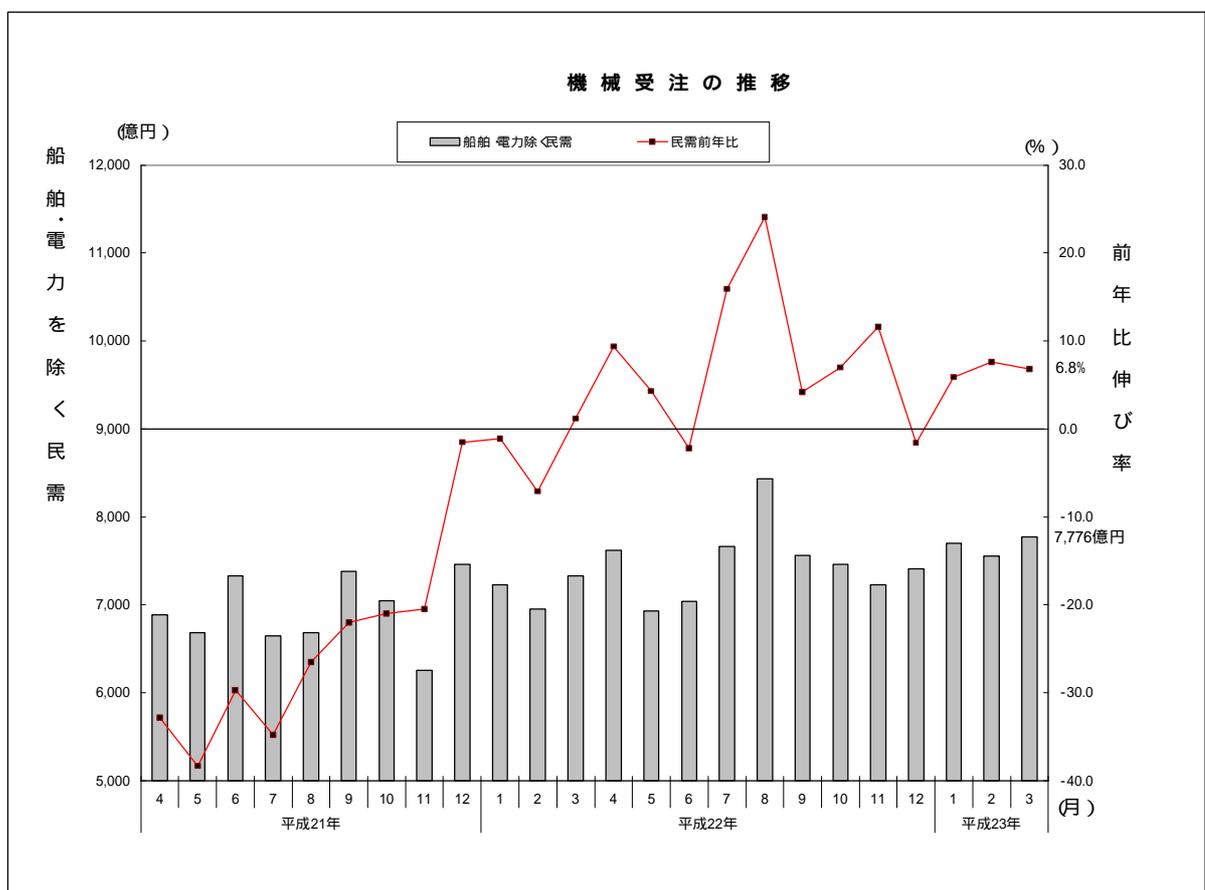
内訳をみると、製造業が同0.4%減の3,571億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同7.1%増の4,423億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、鉄鋼業(66.3%増)、造船業(38.6%増)、電気機械(31.9%増)、化学工業(26.7%増)、繊維・衣服製造業(8.0%増)等の9業種で、パルプ・紙・紙加工品(18.8%減)、自動車・同付属製品(18.2%減)、非鉄金属(17.4%減)、情報通信機械(11.5%減)、その他輸送用機械(7.9%減)等の8業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融・保険業(16.2%増)、情報サービス業(14.8%増)、通信業(8.9%増)等の5業種で、電力業(73.3%減)、鉱業(44.7%減)、卸売・小売業(14.9%減)、運輸業(8.1%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2011年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2011年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+4.8% (製造業+10.7%、非製造業 11.6%)



機械受注統計（平成23年3月分）

	22年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	23年 4~6月 見通し	22年 12月 実績	23年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	56,769 (-1.0) [23.7]	61,298 (8.0) [24.8]	62,654 (2.2) [15.1]	69,850 (11.5) [17.7]	69,650 (-0.3) [13.4]	20,812 (1.5) [8.7]	24,227 (16.4) [31.2]	24,773 (2.3) [31.4]	20,849 (-15.8) [4.1]
民需	25,397 (-0.6) [-2.0]	28,974 (14.1) [15.3]	28,200 (-2.7) [12.5]	28,698 (1.8) [9.0]	30,728 (7.1) [11.7]	10,341 (15.0) [16.9]	9,537 (-7.8) [13.1]	10,706 (12.3) [27.6]	8,455 (-21.0) [-3.1]
” (Ex 船・電)	21,685 (0.6) [3.3]	23,338 (7.6) [13.0]	22,255 (-4.6) [4.9]	23,035 (3.5) [6.8]	25,331 (10.0) [7.7]	7,409 (-0.2) [-1.6]	7,702 (3.9) [5.9]	7,558 (-1.9) [7.6]	7,776 (2.9) [6.8]
製造業	8,386 (-7.1) [13.2]	9,383 (11.9) [34.3]	9,022 (-3.8) [11.6]	10,469 (16.0) [16.3]	11,299 (7.9) [22.7]	3,068 (-2.9) [8.3]	3,311 (7.9) [11.0]	3,587 (8.3) [18.0]	3,571 (-0.4) [18.5]
非製造業 (Ex 船・電)	13,288 (4.4) [-2.4]	13,945 (4.9) [2.3]	13,256 (-4.9) [-0.3]	12,840 (-3.1) [0.7]	14,166 (10.3) [-1.8]	4,351 (1.4) [-7.9]	4,286 (-1.5) [2.1]	4,131 (-3.6) [0.9]	4,423 (7.1) [-0.1]
官公需	6,749 (-3.1) [-4.8]	6,964 (3.2) [-10.1]	6,810 (-2.2) [2.6]	6,222 (-8.6) [-10.8]	6,392 (2.7) [-6.2]	2,134 (-7.4) [-7.9]	2,045 (-4.2) [-19.4]	2,202 (7.6) [0.7]	1,975 (-10.3) [-12.6]
外需	23,028 (9.1) [94.2]	23,599 (2.5) [54.1]	25,621 (8.6) [22.4]	31,131 (21.5) [43.1]	29,684 (-4.6) [20.7]	8,031 (-3.0) [3.5]	11,251 (40.1) [72.3]	10,541 (-6.3) [50.3]	9,339 (-11.4) [23.2]
代理店	2,452 (4.9) [32.4]	2,412 (-1.6) [22.1]	2,383 (-1.2) [8.4]	2,610 (9.5) [11.6]	2,700 (3.5) [6.3]	804 (-4.6) [6.8]	869 (8.1) [15.3]	859 (-1.2) [8.7]	881 (2.6) [11.5]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工戸数は、総数で2,685戸(前年同月比34.8%減)となり、持家が増加したものの、分譲住宅、貸家が減少し、全体では3か月連続で前年を下回った。また、前月比では70戸の減少となった。

3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	820	2.2	22,863	4.0
・分譲住宅	1,024	21.0	18,104	4.6
貸家系・貸家	837	14.8	21,763	9.5
・給与住宅	4	99.6	689	58.5
総数	2,685	34.8	63,419	2.4

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

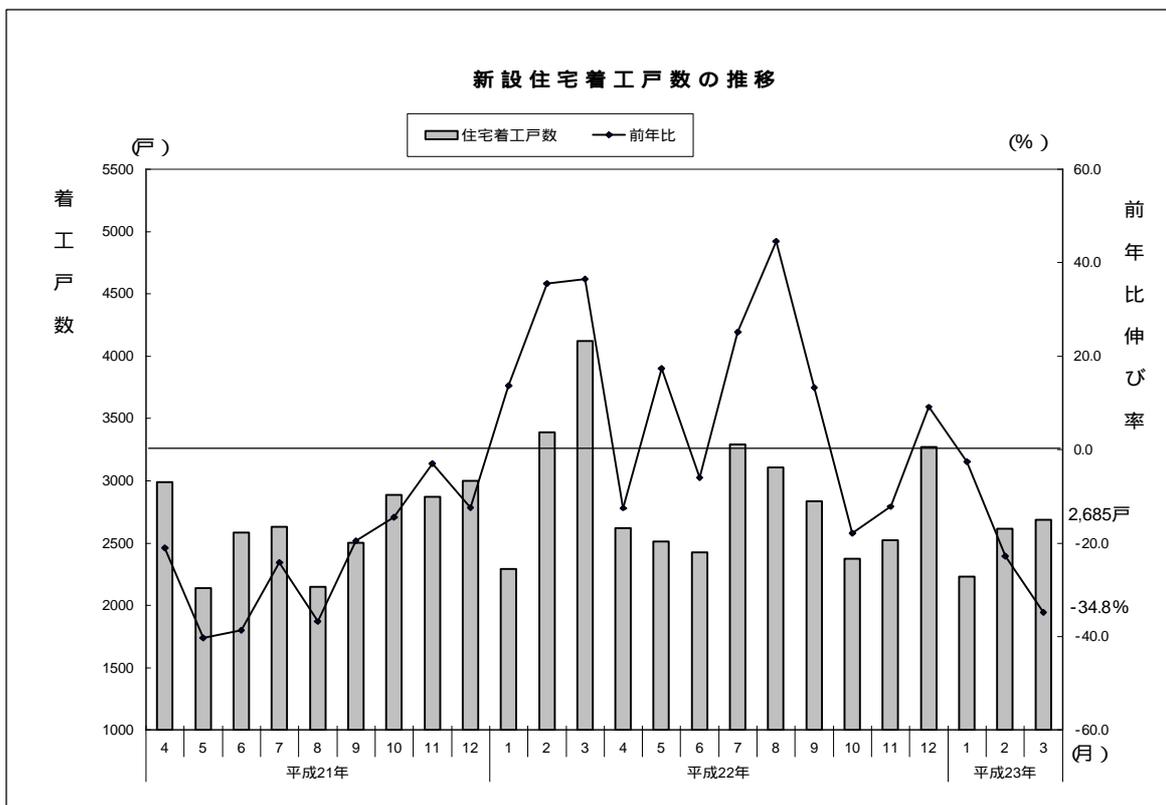
3月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,014	467	344	291	99	246	91	27	19	87	2,685
前月比	336	-200	23	-66	-17	-6	-21	-13	-4	38	70

資料：兵庫県住宅計画課

平成22年4月～平成23年3月の新設住宅着工累計は、総数で32,490戸、前年同期比1,064戸の減少となった。利用関係別では「持家」が11,229戸(前年同期比4.4%増)、「分譲住宅」が10,281戸(同2.2%増)、「貸家」が10,676戸(同1.0%増)、「給与住宅」が304戸(同86.0%減)となった。



【公共工事】

3月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は368件で前年同月比0.5%の減少、請負金額は286億90百万円で同4.5%の減少となり、金額ベースで5か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」が前年同月比59.4%、「独立行政法人等」同1.7%の増加となったものの、「その他の団体」同68.4%、「神戸市」同47.2%、「国」同33.3%、「神戸市を除く市町」同18.7%の減少となり、前年同月を下回った。

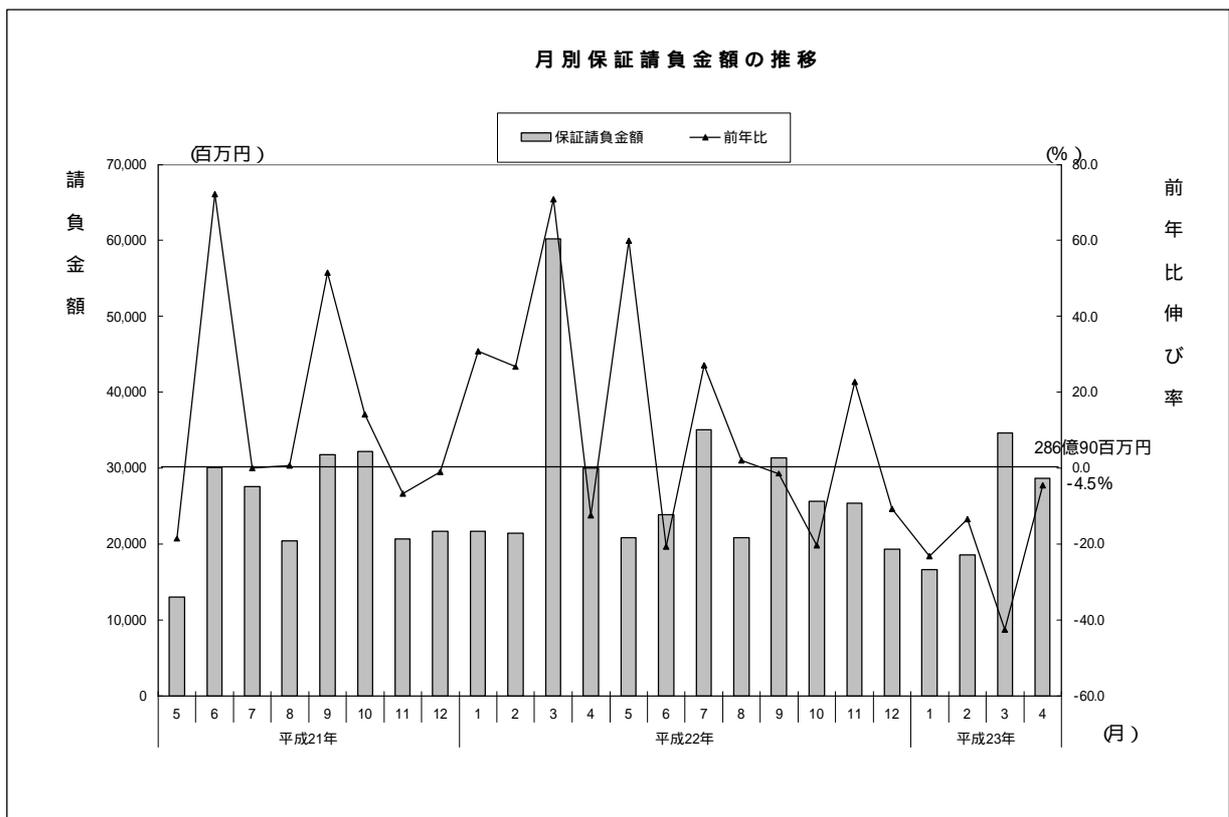
地域別(金額ベース)では、丹波(前年同月比119.0%増)、西播磨(同103.3%増)、淡路(同75.2%増)、但馬(同31.2%増)、北播磨(同25.8%増)、中播磨(同4.8%増)等で増加となったが、東播磨(同41.3%減)、神戸市(同34.7%減)、阪神南(同7.3%減)では減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細
国	9(30.8)	649(33.3)	
独立行政法人等	17(21.4)	2,353(1.7)	神名神高速道路川下川橋工事、阪神高速湊川JCT下部その他工事
兵庫県	216(22.0)	14,742(59.4)	兵庫県立阪神地域多部制単位制高等学校耐震補強その他建築工事、円山川水系与布土川与布土ダム堤体建設工事
神戸市	43(20.4)	4,120(47.2)	中突堤ポンプ場築造工事、大和西住宅耐震改修その他工事、要玄寺川放水路築造工事
神戸市を除く市町	66(31.2)	6,151(18.7)	園田東中学校改築工事、豊岡市新庁舎建築工事
その他の団体	17(6.3)	671(68.4)	福崎町福崎浄化センター水処理設備工事
合計	368(0.5)	28,690(4.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成23年3月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,478億円、前年同月比14.1%の増加で、総額ベースで15か月連続の増加となった。輸出は、音響・映像機器の部分品などが減少したものの、船舶、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方輸入は、医薬品などが減少したものの、音響・映像機器、穀物及び同調製品などが増加した。

輸出は5,141億円(前年同月比13.7%増加)と15か月連続で前年を上回った。

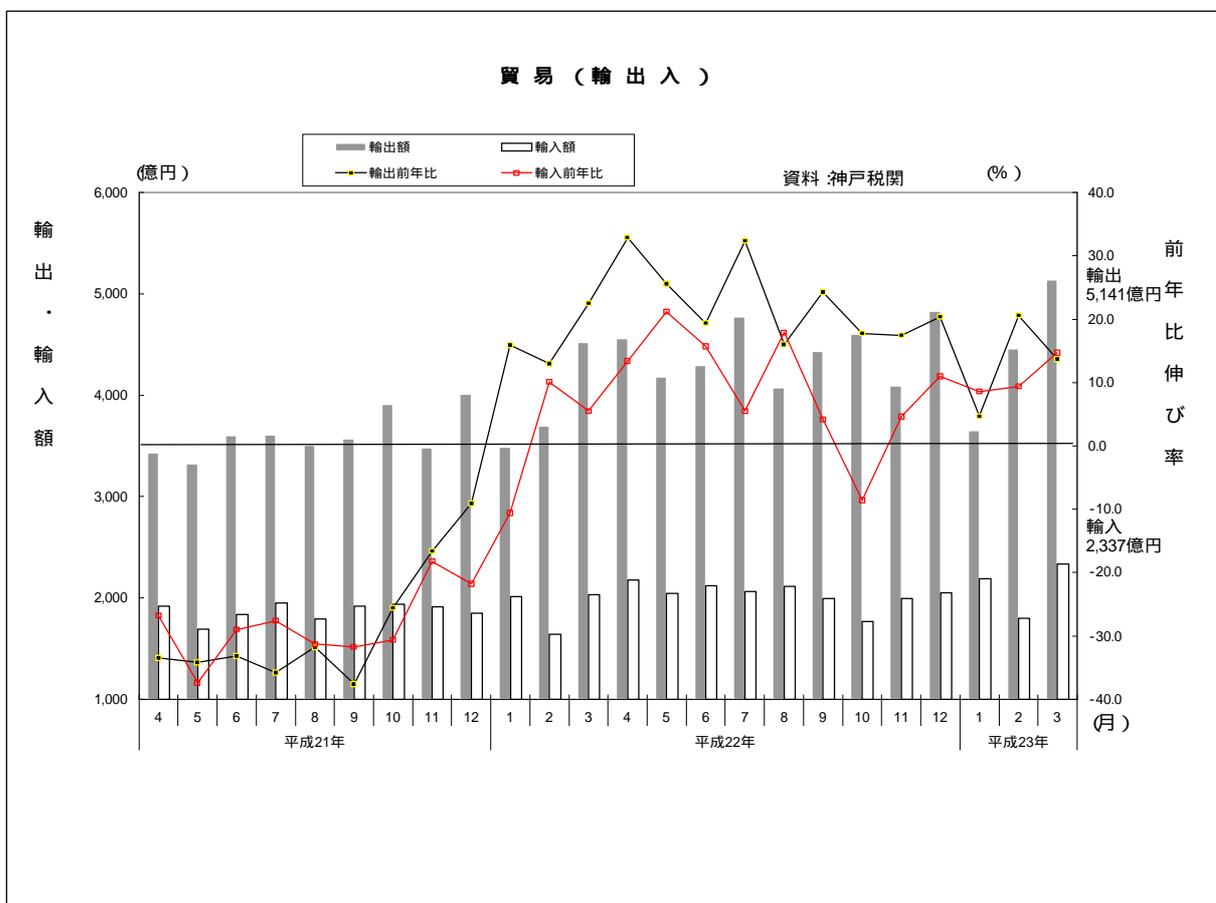
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比13.7%増、2か月連続プラス)、原動機(同11.2%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同1.2%増、2か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同27.5%増、15か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同13.8%増、2か月連続プラス)、中国(同7.5%増、2か月連続プラス)、米国(同21.0%増、15か月連続プラス)、EU(同5.0%増、9か月連続プラス)向けが各々増加した。

輸入は2,337億円(前年同月比14.7%増加)と5か月連続で前年を上回った。

主要品目では、衣類及び同附属品(前年同月比5.1%減、9か月連続マイナス)が減少したものの、たばこ(同2.0%増、2か月連続プラス)、非鉄金属(同20.1%増、14か月連続プラス)、有機化合物(同5.5%増、14か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(同23.3%増、5か月連続プラス)、中国(同25.0%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同19.6%増、2か月連続プラス)向けが増加したものの、EU(同2.4%減、3か月ぶりにマイナス)向けが減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.3(平成17年=100)となり、前月比、前年同月比とも0.9%上昇した。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は1.1%、前年同月比は1.2%上昇した。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.0となり、前月比は1.3%上昇し、前年同月比は1.7%上昇した。

前月からの動きを見ると、自動車等関係費などの値下がりにより「交通・通信」が1.5%、果物などの値下がりにより「食料」が0.1%、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより「教養娯楽」が0.1%下落した。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.3	101.3	104.7	102.8	87.6	97.6	97.9	97.7	98.2	94.6	106.3	100.2	97.9
前月比	0.9	-0.1	4.6	0.3	0.7	2.5	0.3	-1.5	0.2	-0.1	0.4	1.1	1.3
前年同月比	0.9	-1.7	6.0	1.3	-3.4	2.8	-0.8	-1.2	0.2	-0.7	6.5	1.2	1.7

(注)平成17年=100

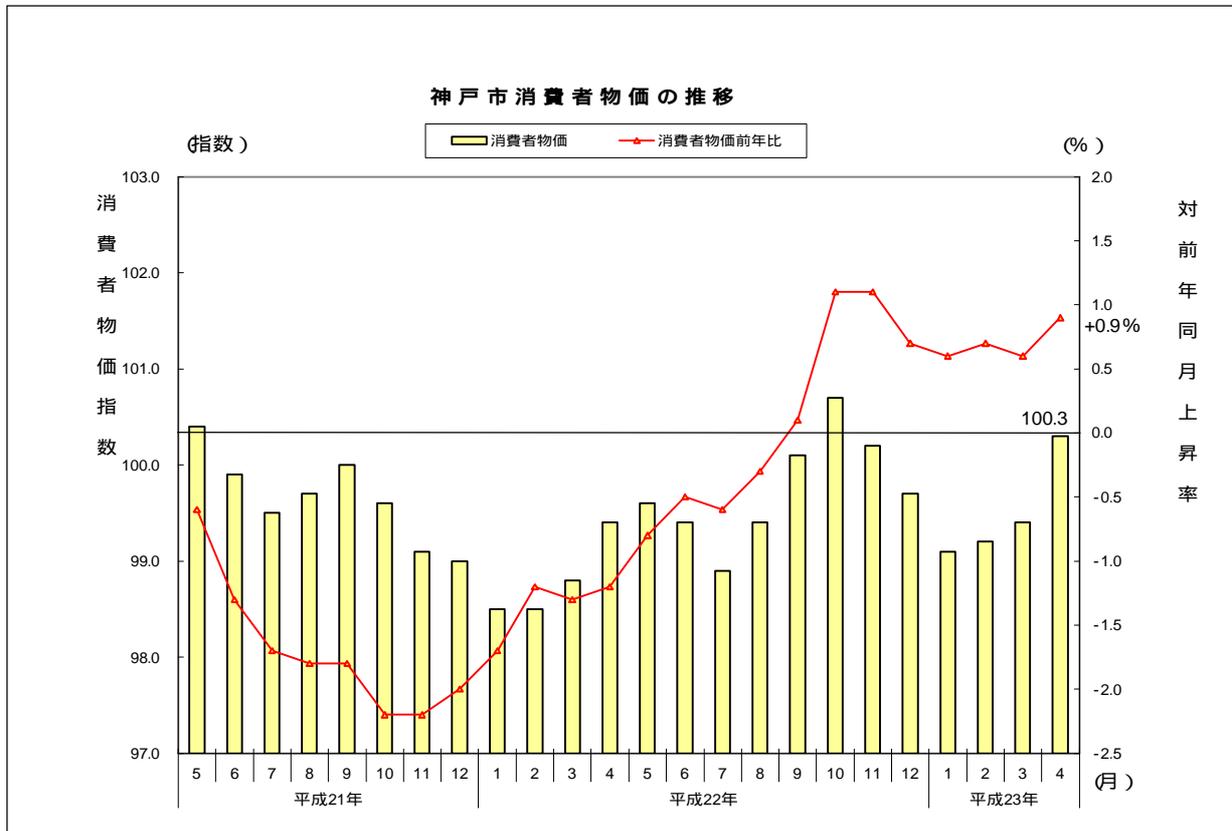
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 家賃 (+ 5.2%)・・・民営家賃(木造中住宅)
- 衣料 (+ 3.6%)・・・背広服(夏物)、男子ズボン(夏物)

対前月比値下がりした主な品目

- 自動車等関係費 (3.7%)・・・車庫借料
- 果物 (11.7%)・・・イチゴ、リンゴ(ふじ)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月16日に発表した、企業物価指数(速報)による2011年4月の実績は次のとおり。

4月の企業物価指数

(速報、2005年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	105.6	0.9	2.5
輸 出 物 価	87.9	2.2	3.0
輸 入 物 価	121.2	5.5	9.1

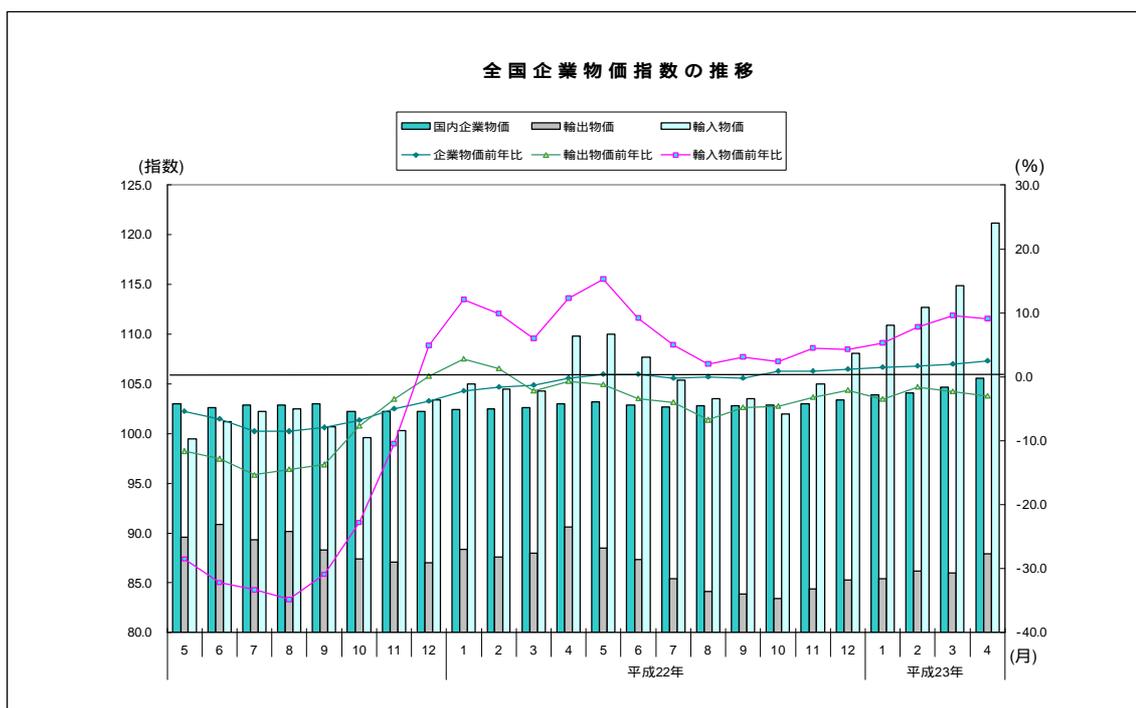
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比+6.0% < C重油、ナフサなど >)、非鉄金属(同+2.0% < 銀地金など >)、製材・木製品(同+2.0% < 普通合板など >)、農林水産物(同+1.9% < 鶏卵、玄米など >)、化学製品(同+1.5% < エチレン、プロピレンなど >)、金属製品(同+1.3% < アルミニウムサッシなど >)等が上昇し、全体では前月比0.9%の上昇となった。

前年同月比では、新興国の需要増などを反映した資源価格の高騰で、石油関連製品の価格が上昇したことにより、2.5%の上昇となった。上昇率は2008年10月以来、2年6か月ぶりの高い伸び率となった。

輸出物価は、金属・同製品(前月比+4.4% < 冷延広幅帯鋼、金地金など >)、化学製品(同+4.1% < 塩化ビニルモノマー、合成ゴムなど >)、その他産品・製品(同+2.4% < 自動車タイヤ、C重油など >)、電気・電子機器(同+1.7% < 集積回路など >)、一般機械(同+1.6% < 自動車用内燃機・同部品、ころ軸受など >)等が上昇し、円ベースでは前月比2.2%の上昇(前年同月比-3.0%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+9.2% < 原油、原料炭など >)、金属・同製品(同+7.7% < 鉄鉱石、銀地金など >)、木材・同製品(前月比+4.8% < 合板など >)、食料品・飼料(同+3.7% < とうもろこし、小麦など >)、化学製品(同+3.7% < 汎用プラスチックなど >)等が上昇し、円ベースでは前月比5.5%の上昇(前年同月比+9.1%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、25,528人(前年同月比8.1%増、前月比3.3%増)で、11か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は66,804人(前年同月比18.6%増、前月比5.2%増)で11か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比8.4%増で13か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同6.7%増で11か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同22.1%増で5か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比20.0%増)、製造業(同23.1%増)、運輸業、郵便業(同9.7%増)、卸売業、小売業(同4.3%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同32.1%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同2.9%増)、医療、福祉(同9.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同0.2%増)は前年を上回ったが、情報通信業(同4.9%減)、サービス業(同1.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は、28,642件(前年同月比7.8%減、前月比13.8%増)で、6か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は108,723人(前年同月比8.2%減、前月比8.0%増)で10か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.8%減で12か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同7.5%減で4か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比17.9%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、無業者は同37.2%増で22か月連続して前年を上回ったが、在職者は前年同月比2.9%減で2か月連続して、事業主都合離職者は同27.2%減で15か月連続して、自己都合離職者は同14.1%減で10か月連続して、自営・他は同18.4%減で6か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、24,857人(前年同月比16.0%減)で、13か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が0.93倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.59倍で前月と同水準となった。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.6%で前月と同水準、完全失業者数(原数値)は304万人(前年同月差26万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.8%(前年同月と同水準)で、完全失業者数(原数値)は58万人(前年同月差1万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
23年3月	25,528	1,665	2,883	347	1,616	3,838	156	423	856	1,833	944	6,072	3,264
前年同月比	8.1	20.0	23.1	4.9	9.7	4.3	5.4	10.2	32.1	0.2	2.9	9.1	1.6

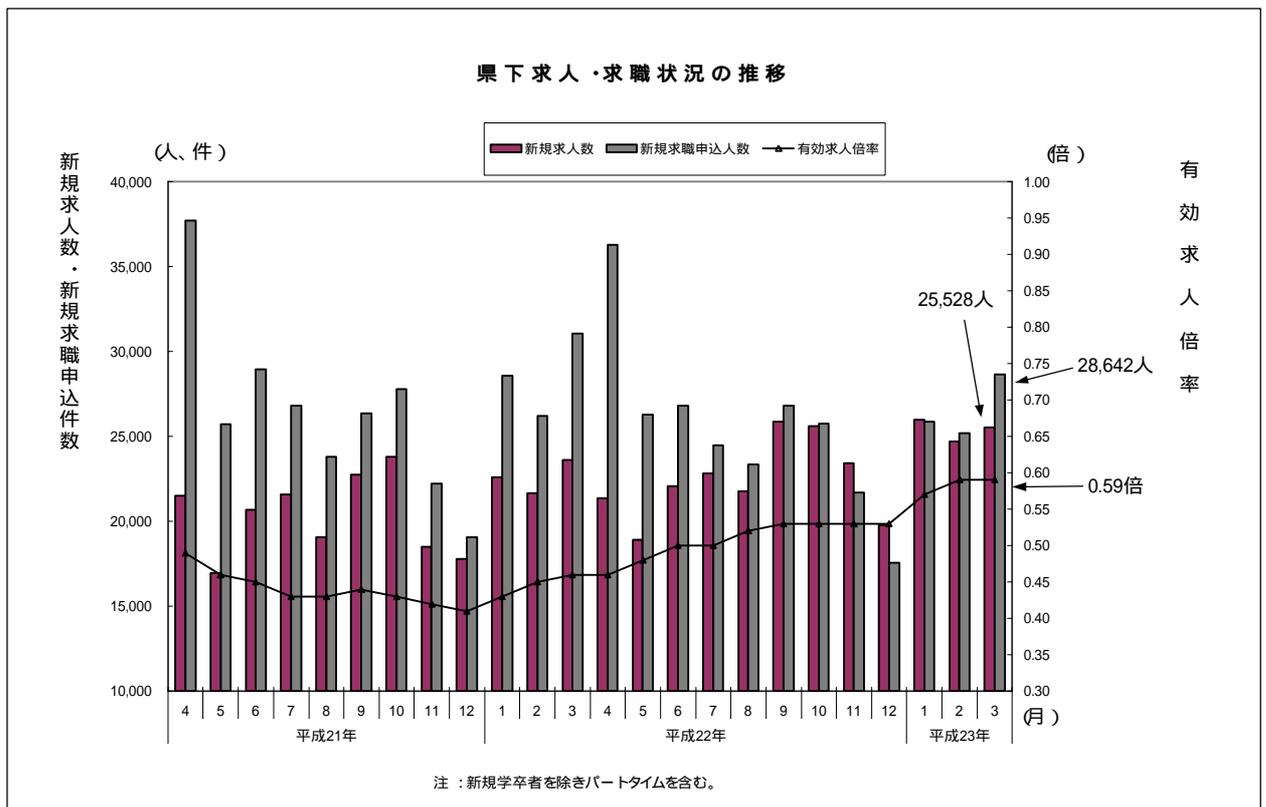
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項 目 ・ 年 月	10/4-6	10/7-9	10/10-12	11/1-3	11/1	11/2	11/3
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.48	0.51	0.54	0.58	0.57	0.59	0.59
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	11.2	14.5	12.3	14.9	14.2	8.1
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	13.2	14.7	12.5	8.3	7.4	5.8	11.7
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	1.1	1.2	0.6	1.2	1.2	1.4	1.1
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.7	0.0	1.7	0.4	0.9	0.3	1.7

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

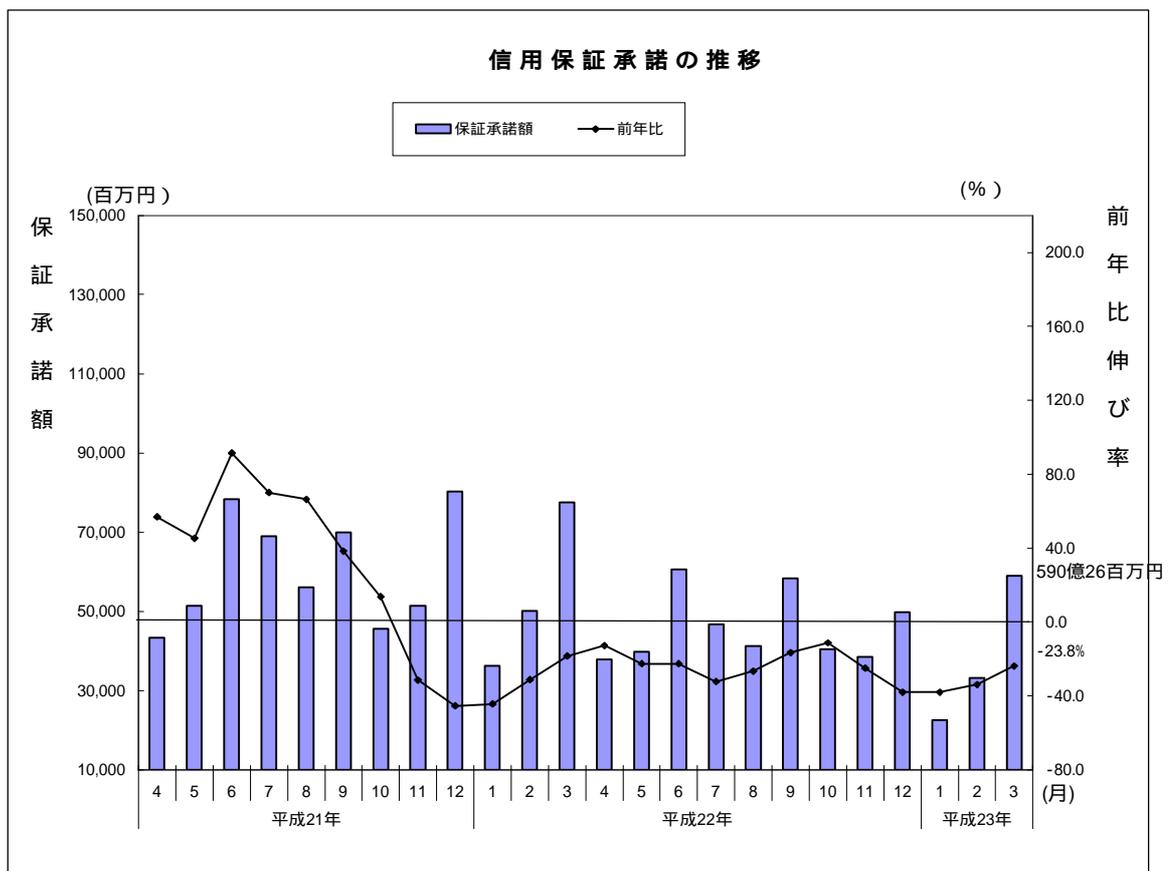
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾実績は、件数で3,668件(前年同月比10.5%減)、金額は590億26百万円(同23.8%減)となり、17か月連続で前年実績を下回った。

平成20年10月末導入の緊急保証制度の承諾が高水準で推移していた反動により、件数、金額とも連続減となった。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」13,168百万円(前年同月比34.8%減)、「製造業」12,282百万円(同9.3%減)、「飲食店」1,354百万円(同21.0%減)、「運送・倉庫業」3,246百万円(同29.1%減)、「小売業」6,316百万円(同29.3%減)、「建設業」13,172百万円(同32.3%減)、「不動産業」1,906百万円(同38.4%減)、「サービス業」6,881百万円(同40.6%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、405件(前年同月比27.8%増)、49億98百万円(同30.1%増)となった。

3月末の保証債務残高は、118,194件(前年同月比2.4%減)、1兆4,511億56百万円(同2.4%減)となった。



【金融】

2月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り(単位:億円、前年同月比増減・%)。

3月の計数は日本銀行神戸支店より未発表のため、預金および貸出計数については4月分と同じ内容となっておりますが、ご了承願います。

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	137,692	1.7	57,186	1.1
地方銀行	23,437	1.3	19,244	0.8
第二地方銀行	30,491	1.0	19,846	2.6
信用金庫	77,986	1.8	38,409	1.3
その他	16,412	4.1	16,767	0.9
計	286,018	1.7	151,452	0.9

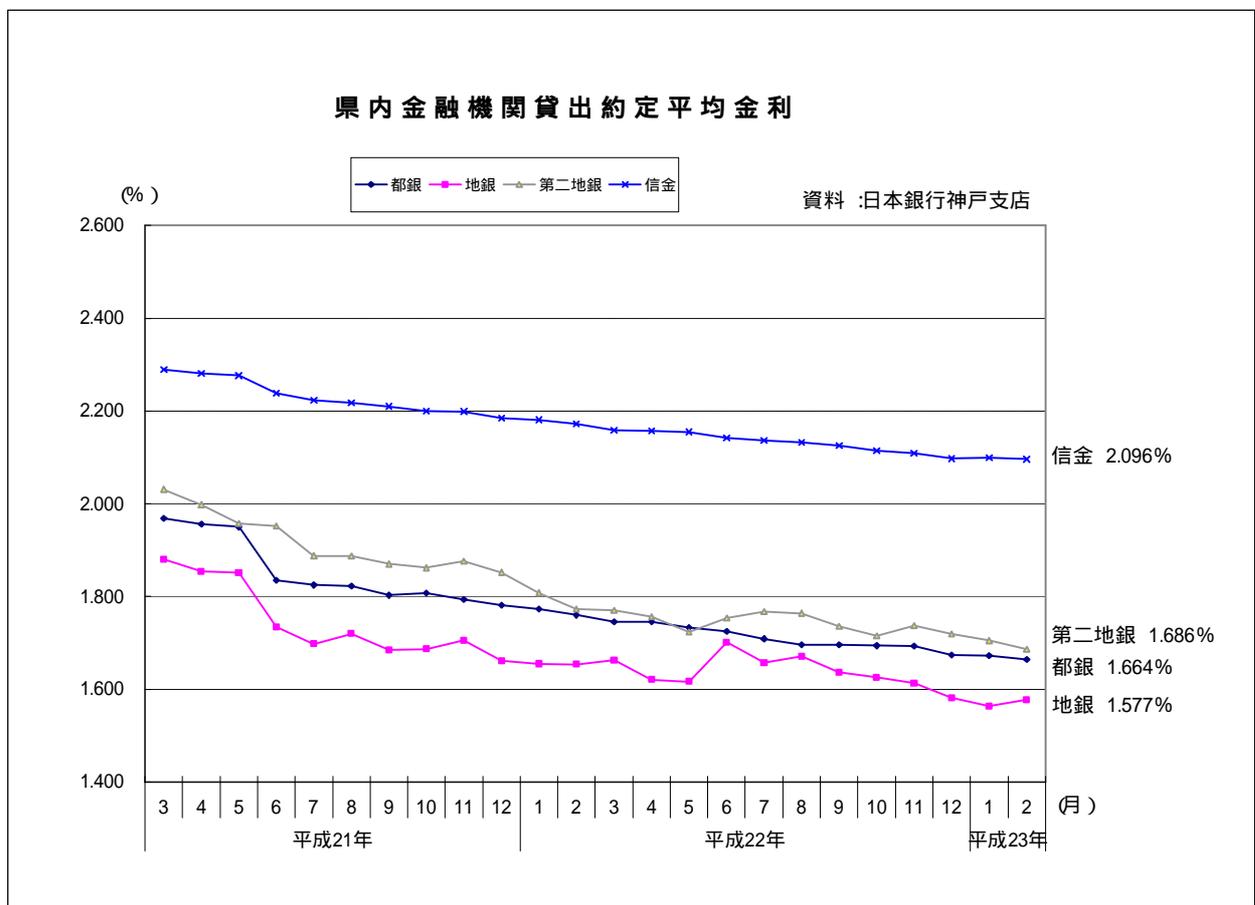
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

2月の預金は、前年を上回って推移している。

2月の貸出は、前年を下回って推移している。

2月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(2月末水準 1.807%、前月比 0.007%ポイント)。



【倒 産】

県内4月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は57件で前年同月比17.4%減少、負債総額は138億83百万円で同23.4%の減少となった。倒産件数は、年初1月の40件を基点として総じて3か月連続で緩やかながら増加傾向を辿っている。一方、負債総額は、10億円以上の大型倒産が5件発生した要因により、2か月振りに100億円を突破した。

原因別(件数)では、販売不振が39件(全体の68.4%)と前月比4件の増加となり、当月もトップ。2番目は過小資本で6件、次いで不良債権発生が5件と続いている。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等「不況型」倒産は41件と前月と同件数となり、構成比は71.9%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が14件(全体の24.6%)と最も多く、2番目は建設業13件、次いで金属・機械・電気業が9件、食品業が8件と続いている。

日本銀行神戸支店が4月27日に発表した「管内金融経済概況」によると、東日本大震災の影響に触れて「生産面を中心に下押し圧力がかかった状態」と2か月連続して判断を引き下げた。

「資本金別」では、「1千万円以上」が24件と前月比10件の増加で前月の3位からトップへ、次いで「個人企業」が14件、「1百万円以上」が13件となった。「産業別」では、「卸売業」が14件とトップ、次いで「建設業」が13件となった。被災地向けへ日用耐久消費財等を中心とした増産が見られるが、半導体関連を中心に幅広い産業・業種において資材・部材の調達難、インフラ網寸断等による物流・配送難、また、今夏には「計画停電」等による生産・操業面での不安視等が聞かれる。製造現場での、いわゆる「川上」でのマイナス要因は、今後、「川下」へと徐々に影響が出てくる可能性が懸念され、また、今般の震災に関わらず、既に従来から「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が多い点にも留意が肝要。被災地から遠隔地にある為、直接的な影響が現状では比較的少ない兵庫県下でも中長期的に幅広い業種・業態への影響が今後懸念され、体力を消耗している中小・零細企業を中心に十分に見守っていく必要がある。

4月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	1	3	4	0	金属・機械・電気	9	2	7	9	0
過小資本	6	4	2	4	2	化学・薬品	2	0	2	2	0
連鎖倒産	5	5	0	5	0	ゴム・皮革・ケミカル	2	0	2	2	0
赤字累積	2	5	-3	4	-2	食品	8	15	-7	12	-4
販売不振	39	35	4	44	-5	建設	13	13	0	14	-1
売掛金回収難	0	1	-1	2	-2	不動産・サービス	14	16	-2	17	-3
その他	1	4	-3	6	-5	運輸・通信他	9	9	0	13	-4
合計	57	55	2	69	-12	合計	57	55	2	69	-12

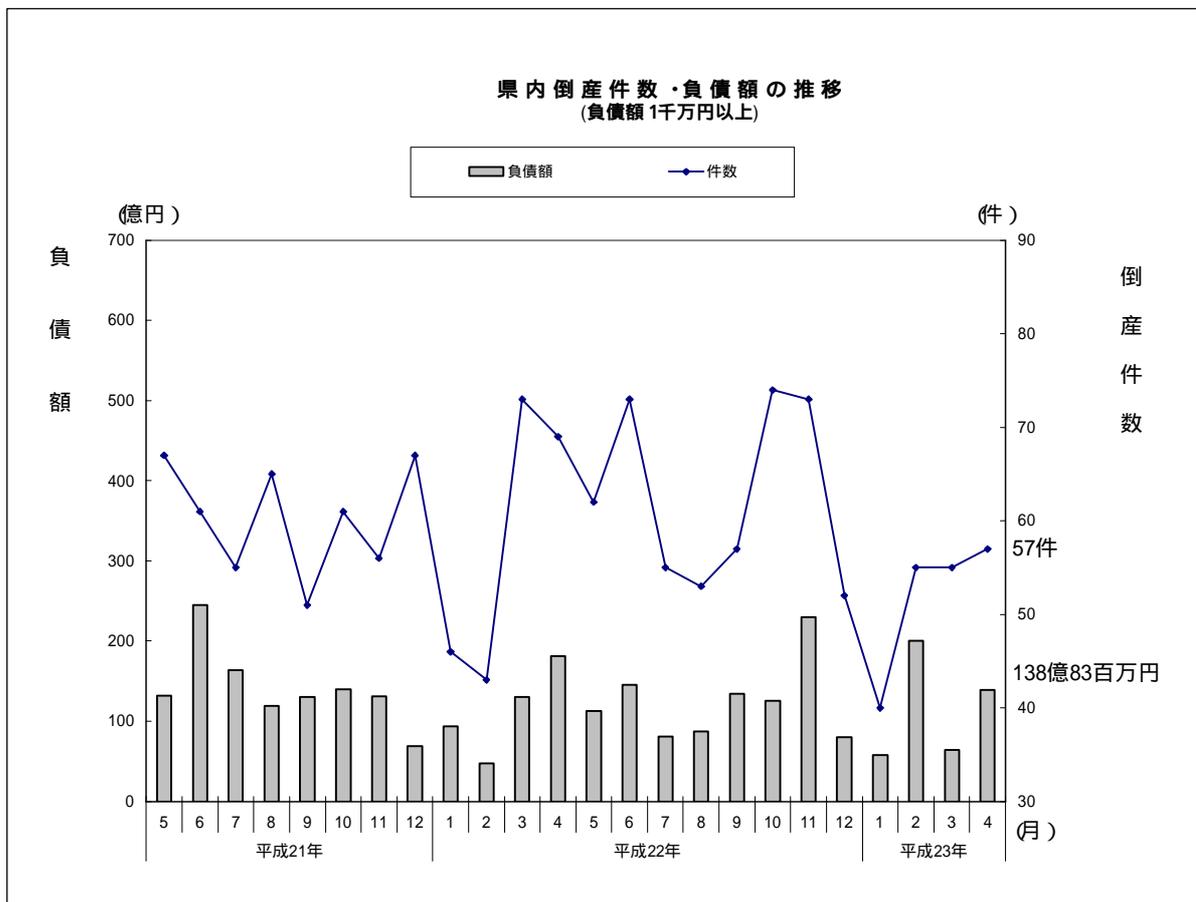
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
18年 平均	50.4	16.0	16.2	5.8	8.3	1.7	1.3	1.1
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 1月	40	6	15	7	10	2	0	0
23年 2月	55	16	14	14	6	2	2	1
23年 3月	55	16	20	12	5	1	1	0
23年 4月	57	21	17	6	10	0	2	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比
		%	%		%	%		%	%	
22年 1月	95.6	1.7	92.1	2.7	217	30.8	-3.8	2,291	13.7	-8.1
2月	92.8	-1.3	93.7	-0.6	215	26.7	-8.8	3,387	35.5	-9.3
3月	90.9	-2.1	94.8	1.2	602	70.9	-16.0	4,120	36.5	-2.4
4月	94.3	3.8	96.0	1.3	300	-12.5	-0.1	2,618	-12.5	0.6
5月	96.8	2.4	96.1	0.1	209	59.9	-5.9	2,511	17.4	-4.6
6月	98.2	1.5	95.0	-1.1	239	-20.7	-5.8	2,426	-6.0	0.6
7月	94.9	-3.6	94.8	-0.2	350	27.1	-8.8	3,293	25.2	4.3
8月	97.9	4.2	94.3	-0.5	208	2.0	-8.4	3,107	44.6	20.5
9月	95.6	-2.3	92.8	-1.6	314	-1.4	-18.8	2,836	13.3	17.7
10月	95.3	-0.4	90.9	-2.0	257	-20.3	-18.1	2,372	-17.9	6.4
11月	93.0	-2.3	91.8	1.0	254	22.8	-6.8	2,522	-12.2	6.8
12月	96.9	3.9	94.8	3.3	194	-10.8	-18.1	3,273	9.1	7.5
23年 1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
2月	r 101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
3月	p 95.7	-5.5	82.9	-15.3	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
4月					287	-4.5	-11.2			
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
22年 1月	13,089	29.8	24.9	202	-5.1	-5.7	3,487	15.9	2,016	-10.6
2月	16,509	25.7	21.9	144	-9.2	-5.3	3,696	13.0	1,642	10.1
3月	23,000	29.3	25.2	185	-3.5	-3.6	4,520	22.5	2,029	5.5
4月	11,698	27.7	26.4	173	-3.9	-3.7	4,561	32.9	2,176	13.4
5月	11,392	20.1	23.0	174	4.2	-2.1	4,179	25.6	2,047	21.2
6月	14,759	17.1	18.1	175	-9.4	-5.7	4,297	19.4	2,122	15.7
7月	16,129	10.9	12.9	219	3.6	-1.4	4,774	32.4	2,060	5.5
8月	14,456	45.9	40.1	161	-2.0	-3.0	4,072	16.0	2,115	17.9
9月	16,338	-6.2	-3.2	159	-5.1	-5.0	4,431	24.3	1,998	4.2
10月	9,670	-29.8	-25.9	176	-1.2	0.6	4,606	17.9	1,771	-8.5
11月	10,036	-31.3	-29.8	193	-0.2	-0.4	4,092	17.5	1,997	4.6
12月	9,426	-26.9	-25.5	267	-1.3	-1.5	4,827	20.4	2,053	11.0
22年 1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	r 4,460	20.7	r 1,799	9.4
3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	p 5,141	13.7	p 2,337	14.7
4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7					
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (17年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (12年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
22年 1月	0.43	0.46	999	-0.4	96.4	-2.9	98.5	-1.7	99.4	-1.3
2月	0.45	0.47	997	-0.6	96.7	-1.0	98.5	-1.2	99.3	-1.1
3月	0.46	0.49	993	-0.3	97.3	-0.7	98.8	-1.3	99.6	-1.1
4月	0.46	0.48	1,000	-0.9	98.1	-0.2	99.4	-1.2	99.6	-1.2
5月	0.48	0.50	1,003	-1.1	97.2	0.4	99.6	-0.8	99.7	-0.9
6月	0.50	0.52	1,002	-1.0	98.0	0.6	99.4	-0.5	99.7	-0.7
7月	0.50	0.53	1,004	-0.4	97.9	0.4	98.9	-0.6	99.2	-0.9
8月	0.52	0.54	1,002	-0.5	97.7	0.6	99.4	-0.3	99.5	-0.9
9月	0.53	0.55	1,003	-0.4	98.3	0.5	100.1	0.1	99.8	-0.6
10月	0.53	0.56	1,005	0.2	98.1	1.2	100.7	1.1	100.2	0.2
11月	0.53	0.57	1,007	0.2	98.3	0.6	100.2	1.1	99.9	0.1
12月	0.53	0.57	1,004	-0.1	98.0	0.7	99.7	0.7	99.6	0.0
23年 1月	0.57	0.61	1,001	0.2	96.5	0.1	99.1	0.6	99.4	0.0
2月	0.59	0.62	998	0.1	96.7	0.0	99.2	0.7	99.3	0.0
3月	0.59	0.63	996	0.3	98.5	1.2	r 99.4 p 100.3	0.6 0.9	99.6	0.0
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (17年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
22年 1月	102.4	-2.2	152,961	0.1	1.649	46	94	11	17	18
2月	102.5	-1.6	152,784	0.1	1.641	43	47	17	12	14
3月	102.6	-1.3	153,787	-1.0	1.623	73	131	24	25	24
4月	103.0	-0.2	151,763	-1.3	1.618	69	181	21	28	20
5月	103.2	0.4	152,195	-1.5	1.614	62	113	22	18	22
6月	102.8	0.4	151,049	-1.3	1.599	73	146	26	25	22
7月	102.8	-0.2	151,709	-1.2	1.597	55	81	12	21	22
8月	102.8	0.0	150,656	-1.2	1.588	53	87	20	14	19
9月	102.9	-0.2	151,553	-1.4	1.565	57	135	22	17	18
10月	102.9	0.9	151,406	-1.1	1.569	74	125	28	28	18
11月	103.0	0.9	150,620	-1.0	1.566	73	230	29	22	22
12月	103.4	1.2	152,555	-0.8	1.551	52	80	18	20	14
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	r 104.7	2.0			1.519	55	65	16	20	19
4月	p 105.6	2.5				57	139	21	17	19
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値